

タイラギの生息状況について（55点調査結果）

平成30年11月21日

佐賀県有明水産振興センター

1. 目的

この調査は毎年1回実施し、タイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

2. 調査年月日

平成30年10月1～4、12、16日の6日間。

3. 調査方法

潜水器船で、1隻1日あたり5地点ずつ、合計55地点を調査した。

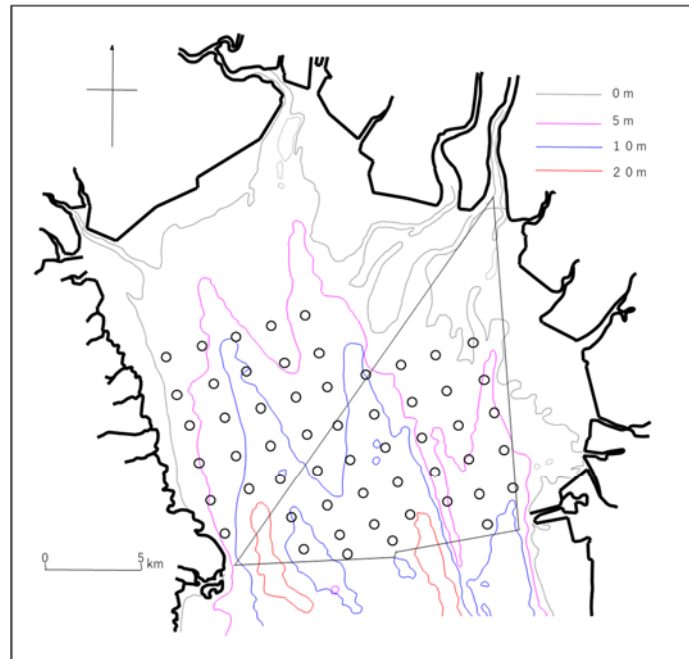
各調査地点において、100mのロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1mの範囲内にみられた生物を採取した。

採取した生物は、水産振興センターに持ち帰り、殻長、重量等を測定した。

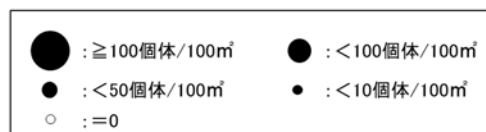
4. 調査結果

タイラギ成貝の生息状況

下図に示したとおり、成貝は55地点中、全ての地点で確認されなかった。



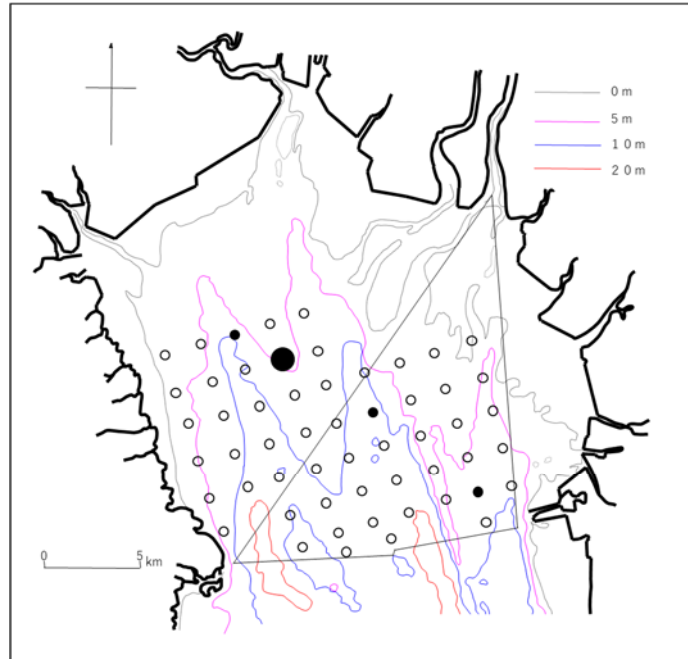
調査日：平成30年10月1～4,12,16日



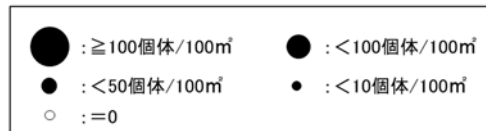
タイラギ成貝生息密度（30年度55点調査）

タイラギ稚貝の生息状況

下図に示したとおり、稚貝は55地点中4地点で確認された。100m²当たりの採捕数は最高で53個であった。平均殻長は、80mm（63～108mm）であった。



調査日：平成30年10月1～4,12,16日



タイラギ稚貝生息密度（30年度55点調査）